

3. 音声だけではイメージのギャップができる

授業のねらい

東日本大震災では、ラジオが情報を得る手段として有効であった。ラジオは、音声だけで情報を伝えるメディアである。そこで、音声だけの情報は、自分の体験や知識、イメージで判断していることを自覚させ、音声だけの情報を受け取った時には、冷静に判断したり他の情報と比較したりすることが必要であることに気付かせる。

授業の価値

東日本大震災のような非常時には、停電になりインターネットなどの通信もつながりにくくなった地域が多くあった。その中で、ラジオは地域の情報や様々な情報を得ることができ、有効なメディアとして見直された。

しかし、音声だけの情報を受け取る場合には、画像が見えないために想像して判断するので、パニックになったり正しい判断がしにくかったりする。

この授業では、普段、音声から得た情報を自分は何を基準に判断しているのかや、同じ情報でも他の人の情報の受け取り方が違うことを知る活動を取り入れる。次に、震災時の実際の音声からの情報を聞くことで、音声だけでは正しく判断できにくいことに気付かせる。さらに、被災地の方の体験談を知り、非常時だけでなく普段から音声だけの情報を受け取った時には、どのように判断し行動したら良いのかを考えさせるように、授業を進める。

教科・領域等

社会科・総合的な学習の時間

対象学年

小学校第5学年～第6学年

活用する資料

言葉だけで伝える情報（大きさ、高さ、広さなど人によって受け取り方が違いそうな情報）

東日本大震災時のラジオの情報

東日本大震災後の被災者の体験談

● 授業の展開

	学習活動	指導上の留意点
15 分	<p>1. 音声で情報を与え、絵にかき表わす。</p> <p>□これから言葉だけで情報を伝えます。絵にかき表しましょう。</p> <p>2. 絵を見せ合い一人一人違うことに気付く。</p> <p>□絵を見せ合い、広さや高さ、カップをどのようにイメージしたのかを話し合しましょう。 <small><予想される反応></small></p> <ul style="list-style-type: none"> ・大きさや高さの感覚が違う。 ・カップのイメージが違う。 <p>3. まとめをする。</p> <p>○大きさや想像上のものは、自分の感覚やイメージで判断しているのです。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・グループ内で絵を見せ合うことを伝える。 ・グループで見せ合うことで、他の人とは判断の仕方やイメージの持ち方が違うことに気付かせる。 ・スライドで他の人と違う例を示し、自分の体験や知識、イメージで判断したことに気付かせる。
<p>◎ 学習課題 音声だけの情報を受け取った時、どうすればよいか考えよう。</p>		
20 分	<p>4. 震災時に流れたラジオ報道を聴き、分析する。</p> <p>□実際のラジオ報道を聴き、音声だけの情報で判断できること、できないことを話し合しましょう。 <small><予想される反応></small></p> <ul style="list-style-type: none"> ・判断できることは、津波が来ること ・判断できないことは、 大きい津波と言われても、どれくらい大きいのが分からない。 6mとか20cmとか、数字がピンとこない。 <p>5. 震災時の状況と音声だけの情報にはギャップがあったことを理解する。</p> <p>○体験談から分かるように、実際に目にしていなかったために、実感がなく逃げなかった人や、自分がイメージしていなかった状況だったことを知り、ショックを受けた人もいました。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・話し合う際に以下の視点で話し合わせる。 正しく理解できそうにないもの 人によってイメージに違いがあると思うもの その際、画像があれば判断しやすいものを考えさせる。 ・一度音声で聴き話し合い、その後文章を見て、話し合わせる。 ・体験談から、震災時、音声だけの情報と実際の状況とはギャップがあったことを理解させる。その際、判断を誤り被害に遭った人がいることも知らせる。
10 分	<p>6. 音声だけの情報の受け取り方についてまとめる。</p> <p>●音声だけの情報を受け取った時、どうしたら良いと思いますか。 <small><予想される反応></small></p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分だけで判断せず、冷静に受け止める。 ・他の人の意見や他の情報も得るようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・震災時だけでなく、普段から判断する手段を知っておくことや冷静に受け止めることが必要なことを押さえる。
<p>まとめ ・ラジオは震災時に有効なメディアだが、目に見えないため判断を誤る場合もある。 ・普段から、音声だけの情報を得た時には、他の人の判断や他の情報と比べるなどして冷静に判断し行動することが大切である。</p>		

● 発問 □ 指示 ○ 説明